



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社 福田組
 コード番号 1899 URL <http://www.fkd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 荒明 正紀
 (氏名) 山本 武志
 TEL 025-266-9111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	130,165	4.7	6,876	20.8	6,982	18.1	4,575	17.0
2019年12月期第3四半期	124,381	5.4	5,691	0.1	5,911	1.4	3,911	5.0

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 4,429百万円 (12.9%) 2019年12月期第3四半期 3,924百万円 (7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	525.09	
2019年12月期第3四半期	442.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	140,617	70,014	49.3
2019年12月期	139,546	68,134	48.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 69,389百万円 2019年12月期 67,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		110.00	110.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	3.3	6,800	15.6	7,000	16.2	4,600	16.0	539.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	8,988,111 株	2019年12月期	8,988,111 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	469,533 株	2019年12月期	147,042 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	8,713,025 株	2019年12月期3Q	8,839,405 株

当社は「株式給付信託(J-ESOP)」制度及び「役員株式給付信託(BBT)」制度を導入しております。期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式が含まれております(2020年12月期3Q66,200株、2019年12月期70,300株)。また、「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式を期中平均自己株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年12月期3Q67,680株、2019年12月期3Q59,220株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2020年12月期の個別業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		一株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	110,000	△8.3	4,600	△17.5	5,100	△16.8	3,500	△18.4	410.86

(注) 2020年8月7日公表時と、変更はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. [参考]四半期個別財務諸表	10
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は、当期受注高が前年を下回ったものの、建設事業の前期繰越高が高水準であったことや、懸念されていた新型コロナウイルス感染症拡大による工事の中止や進捗の遅延が無い状態のまま、大型工事の完成や工事施工が順調に進捗したこと等により、前年同四半期と比べて4.7%増の1,301億円余となりました。

利益面におきましては、売上高の増加や採算性の高い工事物件が完成したこと等による粗利率率の上昇が大きく影響、並びに懸念されていた新型コロナウイルス感染症拡大による損失も生じなかったことから、売上総利益は前年同四半期と比べて10.6%増の141億円余となり、販売費及び一般管理費において若干の件費増加が生じたものの、営業利益は前年同四半期と比べて20.8%増の68億円余となりました。

営業外損益においては、大きな変動が無かったことにより、経常利益は前年同四半期と比べて18.1%増の69億円余となりました。

しかし、投資有価証券評価損の計上や法人税等の増加等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べて17.0%増の45億円余となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状況につきまして、資産については、前期から繰り越されていた大型工事等が概ね完成したことによる、売掛債権の回収が順調に進んだことから受取手形・完成工事未収入金等が大幅に減少したものの、これにより現金預金も大幅に増加したことから、結果的には流動資産においての大きな変動はありませんでしたが、土地の取得等による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ総資産は10億円余増加し、1,406億円余となりました。

負債については、工事施工高の伸長による支払手形・工事未払金等の増加や、繰越工事に対する工事代金の前受けによる未成工事受入金等の増加が生じたものの、返済による借入金残高の減少が大きかったことにより、前連結会計年度末に比べ8億円余減少の706億円余となりました。

純資産については、自己株式の取得が生じたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末に比べて18億円余増加し、700億円余となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの業績は、前期以前に受注した物件を、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、滞ることなく施工し、標記のとおりとなりました。懸念されていた感染症拡大による施工の中止や遅延なども発生することなく、採算性の高い大型工事等が順調に進捗出来たことにより想定以上の結果となりました。

一方、受注面におきましては、お客様への訪問や面談の中止による発注の遅れ、また事業会社では、景気の急減速に伴う設備投資計画の見直しなどが発生し、当社個別の受注高は第3四半期時点で709億円余、前年同期比14.8%減となっております。

今後、冬期間に入るため、再度の感染拡大も予想され、受注面では個人消費や建設投資が感染症流行前の水準に戻るには、相応の時間を要すると思われれます。また、第4四半期以降は、当年度に受注した工事の施工が進捗するものの、当期受注高減の影響から手持工事量も低下傾向であるため、売上高の伸びは鈍化すると予測しております。さらに資材などの調達遅延や価格上昇リスクも払拭しきれないため、採算面でも低下要因が残されております。

このような状況から、当期の個別受注予想920億円を変更しないこととし、それに従い、通期の連結業績見通しにおいても、売上高1,760億円、営業利益68億円、経常利益70億円、親会社に帰属する当期純利益を46億円のままといたします。また、個別業績予想についても、売上高1,100億円、営業利益46億円、経常利益51億円、当期純利益35億円とさせていただきます。

なお、配当予想については、従来と変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	23,174	33,136
受取手形・完成工事未収入金等	70,143	60,748
有価証券	0	0
販売用不動産	2,271	1,465
未成工事支出金	2,081	2,718
不動産事業支出金	1,015	1,457
その他のたな卸資産	321	329
未収入金	4,487	3,798
その他	733	921
貸倒引当金	△25	△41
流動資産合計	104,203	104,535
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	22,879	22,918
機械、運搬具及び工具器具備品	13,449	13,760
土地	15,151	15,846
その他	753	799
減価償却累計額	△26,051	△26,328
有形固定資産合計	26,182	26,996
無形固定資産		
のれん	98	—
その他	546	559
無形固定資産合計	644	559
投資その他の資産		
投資有価証券	5,208	4,903
長期貸付金	608	120
退職給付に係る資産	1,445	1,631
繰延税金資産	603	1,228
その他	931	919
貸倒引当金	△281	△278
投資その他の資産合計	8,515	8,525
固定資産合計	35,343	36,082
資産合計	139,546	140,617

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	41,880	43,486
短期借入金	6,330	895
未払法人税等	1,642	1,606
未成工事受入金等	7,304	10,558
引当金		
賞与引当金	—	2,611
その他の引当金	430	319
引当金計	430	2,931
その他	5,292	3,304
流動負債合計	62,880	62,783
固定負債		
長期借入金	1,759	1,314
繰延税金負債	50	36
再評価に係る繰延税金負債	856	856
引当金	544	492
退職給付に係る負債	2,706	2,632
その他	2,614	2,486
固定負債合計	8,531	7,819
負債合計	71,412	70,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,162	6,162
利益剰余金	56,118	59,713
自己株式	△741	△2,289
株主資本合計	66,697	68,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	853	641
土地再評価差額金	△75	△75
退職給付に係る調整累計額	63	78
その他の包括利益累計額合計	840	644
非支配株主持分	596	625
純資産合計	68,134	70,014
負債純資産合計	139,546	140,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	113,562	117,831
不動産事業売上高	1,826	2,870
その他の事業売上高	8,992	9,463
売上高合計	124,381	130,165
売上原価		
完成工事原価	102,636	105,969
不動産事業売上原価	1,312	2,229
その他の事業売上原価	7,626	7,807
売上原価合計	111,575	116,006
売上総利益		
完成工事総利益	10,926	11,862
不動産事業総利益	513	640
その他の事業総利益	1,366	1,656
売上総利益合計	12,806	14,159
販売費及び一般管理費	7,114	7,282
営業利益	5,691	6,876
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	106	102
持分法による投資利益	18	14
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	167	122
営業外収益合計	310	251
営業外費用		
支払利息	30	36
シンジケートローン手数料	29	28
貸倒引当金繰入額	—	19
前払金保証料	24	31
その他	6	28
営業外費用合計	90	144
経常利益	5,911	6,982
特別利益		
固定資産売却益	125	37
投資有価証券売却益	0	0
損害賠償損失引当金戻入額	—	50
特別利益合計	125	87
特別損失		
固定資産除却損	17	63
投資有価証券評価損	1	156
その他	2	1
特別損失合計	21	221
税金等調整前四半期純利益	6,015	6,849
法人税、住民税及び事業税	2,476	2,867
法人税等調整額	△454	△643
法人税等合計	2,022	2,224
四半期純利益	3,993	4,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,911	4,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,993	4,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	△210
土地再評価差額金	0	—
退職給付に係る調整額	22	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△1
その他の包括利益合計	△68	△195
四半期包括利益	3,924	4,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,843	4,379
非支配株主に係る四半期包括利益	80	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式326,500株の取得を行いました。この結果、第3四半期連結累計期間において自己株式が1,570百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,289百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2020年6月15日をもって終了しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難であります。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度まで継続すると仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当社グループは、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、今後における感染症の収束時期や経済活動等の不確実性に左右されるため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
外部顧客への売上高	122,065	1,826	123,891	490	124,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	38	107	0	108
計	122,134	1,865	123,999	490	124,490
セグメント利益	5,540	223	5,763	54	5,817

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,763
「その他」の区分の利益	54
セグメント間取引消去	△4
全社費用(注)	△121
四半期連結損益計算書の営業利益	5,691

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
外部顧客への売上高	126,783	2,886	129,669	495	130,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	52	160	1	161
計	126,891	2,938	129,830	496	130,327
セグメント利益	6,560	359	6,919	56	6,976

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,919
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△106
四半期連結損益計算書の営業利益	6,876

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. [参考] 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,057	16,570
受取手形及び完成工事未収 入金等	51,313	46,995
販売用不動産	1,482	585
未成工事支出金等	823	1,154
不動産事業支出金	927	1,424
その他	4,985	4,303
流動資産合計	71,588	71,033
固定資産		
有形固定資産	8,698	9,218
無形固定資産	34	53
投資その他の資産	8,635	8,512
固定資産合計	17,368	17,784
資産合計	88,957	88,817

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,673	29,460
短期借入金	3,250	250
未払法人税等	1,370	1,402
引当金	385	2,300
その他	8,808	9,438
流動負債合計	43,488	42,851
固定負債		
長期借入金	500	312
退職給付引当金	1,363	1,311
その他	1,136	1,133
固定負債合計	3,000	2,757
負債合計	46,488	45,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,162	6,162
利益剰余金	30,647	33,089
自己株式	△741	△2,289
株主資本合計	41,226	42,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	634	481
土地再評価差額金	606	606
評価・換算差額等合計	1,241	1,087
純資産合計	42,468	43,208
負債純資産合計	88,957	88,817

(注) この四半期貸借対照表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	80,901	82,550
不動産事業売上高	456	1,657
売上高計	81,357	84,207
売上原価		
完成工事原価	74,228	75,133
不動産事業売上原価	236	1,315
売上原価計	74,465	76,448
売上総利益		
完成工事総利益	6,673	7,416
不動産事業総利益	219	341
売上総利益計	6,892	7,758
販売費及び一般管理費	2,890	3,242
営業利益	4,002	4,515
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	534	520
貸倒引当金戻入額	1	2
その他	43	36
営業外収益計	586	567
営業外費用		
支払利息	12	13
シンジケートローン手数料	16	16
その他	16	51
営業外費用計	45	81
経常利益	4,544	5,001
特別利益		
固定資産売却益	60	0
投資有価証券売却益	—	0
その他	0	—
特別利益計	60	0
特別損失		
固定資産除却損	1	16
減損損失	0	—
その他	1	150
特別損失計	3	166
税引前四半期純利益	4,601	4,835
法人税、住民税及び事業税	1,682	1,926
法人税等調整額	△351	△513
法人税等合計	1,331	1,413
四半期純利益	3,270	3,422

(注) この四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. 補足情報

2020年12月期の個別受注高(2020年1月1日~2020年12月31日)

個別受注実績

	受注高	
2020年12月期第3四半期	70,914百万円	△14.8%
2019年12月期第3四半期	83,255	△27.7

- (注) 1 受注高は、当該四半期までの累計額
 2 パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位:百万円、%)

区 分		2019年12月期 第3四半期	2020年12月期 第3四半期	比較増減	増減率	
建設事業	建築	官公庁	2,599 (3.1%)	4,543 (6.4%)	1,944	74.8
		民間	57,061 (68.5)	46,420 (65.5)	△10,641	△18.6
		計	59,661 (71.7)	50,964 (71.9)	△8,697	△14.6
	土木	官公庁	16,477 (19.8)	12,471 (17.6)	△4,005	△24.3
		民間	6,446 (7.7)	5,822 (8.2)	△623	△9.7
		計	22,923 (27.5)	18,294 (25.8)	△4,629	△20.2
	合計	官公庁	19,077 (22.9)	17,015 (24.0)	△2,061	△10.8
		民間	63,508 (76.3)	52,243 (73.7)	△11,265	△17.7
		計	82,585 (99.2)	69,259 (97.7)	△13,326	△16.1
不動産事業		669 (0.8)	1,655 (2.3)	985	147.1	
合計		83,255 (100.0)	70,914 (100.0)	△12,340	△14.8	

(注) () 内のパーセント表示は、構成比率

個別受注予想

	受注高	
2020年12月期予想	92,000百万円	△23.9%
2019年12月期実績	120,847	△20.2